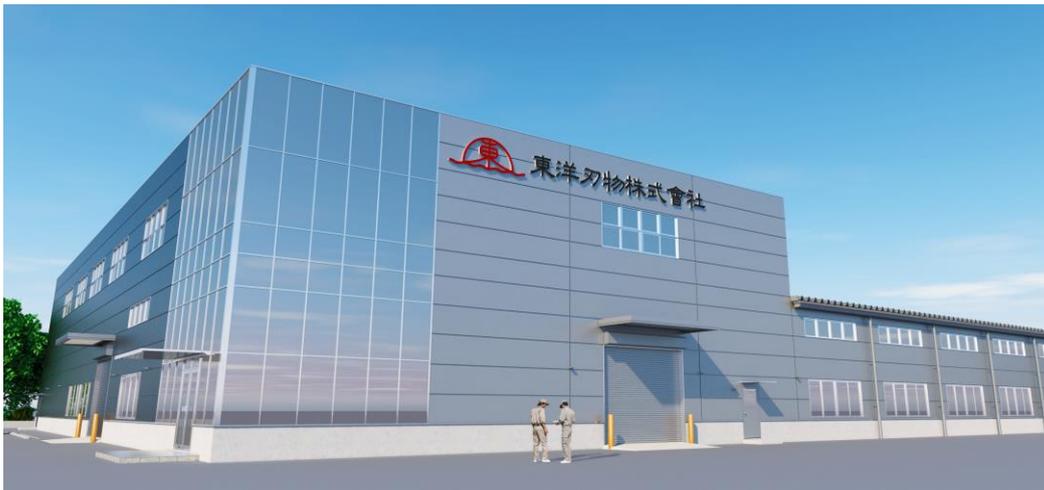


2023年4月13日

各位

東洋刃物株式会社
宮城県富谷市の本社敷地内で4月12日（水）に地鎮祭を実施
情報産業用刃物の増産のため、新工場を建設へ（2023年11月竣工予定）



東洋刃物が新築する工場の完成予想図

東洋刃物株式会社（本社：宮城県富谷市富谷日渡 34 番地 11、代表者：大石純一郎、以下「当社」）は、事業製品の中核である情報産業用刃物（Micro Slitter Knife、以下 MS）の増産に向けて、本社敷地内に新工場（新MS棟・仮称）を建設します。2023年4月12日に地鎮祭を執り行いましたので、ご案内いたします。

大石代表取締役社長をはじめ弊社関係者、富谷市関係者、設計施工関係者など約40人が参列。大石代表取締役社長が鍬入れを行い、工事の無事を祈願しました。新工場は、鉄骨造一部2階建てで、延べ床面積は約4355㎡。自動化など最新の機能を備える設備を導入し、ショールーム、食堂、リフレッシュルームなども設けます。事業費は約11億円。大石代表取締役社長は「新工場を核にして新たな挑戦をしていく」とあいさつし、新工場の概要や、最先端の導入設備を参列者の皆さまにご紹介しました。



鍬入れをする大石純一郎代表取締役社長

MSは、電気自動車やスマートフォン等に組み込まれるリチウムイオン電池、特殊フィルムの切断に主に用いられます。当社は昨年8月、株式会社フェローテックホールディングス（東証スタンダード：6890、以下 FTHD）の子会社となり、2025年には創立100周年を迎えます。創業以来培った技術と信頼を礎に、さらなる売上増大を目指し、今後も FTHD をはじめグループ各社とのシナジーにより、事業成長につながる投資を展開していきます。

■新MS棟（仮称）における今後のスケジュール

着工： 2023年5月

竣工： 2023年11月

操業： 2023年12月

■東洋刃物株式会社の概要

1925（大正14）年8月9日、東北帝国大学（現・東北大学）附属金属材料研究所所長であった金属学の世界的権威、本多光太郎博士の提唱により、創立した総合刃物メーカーです。情報産業用刃物、鉄鋼用刃物、木材関連用刃物、さらには産業用機械や部品など、さまざまな製品の開発・提供を行っております。

商号： 東洋刃物株式会社 TOYO KNIFE CO.,LTD.（英名）
代表者： 代表取締役社長 大石 純一郎
創立年月日： 1925（大正14）年8月9日
所在地： 〒981-3311 宮城県富谷市富谷日渡34番地11
資本金： 7億円
事業内容： 機械刃物及び機械・部品の製造、販売
株主： 株式会社フェローテックホールディングス
連結子会社： 株式会社トオハ、東洋緑化株式会社、
杭州東洋精密刀具有限公司(中国)
従業員： 199人(正規従業員)

MS 製品



ホルダー



皿バネ



上刃



押え蓋

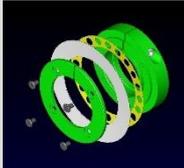
+



下刃



スペーサー

上刃ホルダーセット

組み合わせて
使用されます

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

東洋刃物株式会社 管理部

保原 晶

TEL：022-358-8911 FAX：022-358-8915